

脳梗塞(TIA含む)患者のうち入院2日目までの抗血小板・抗凝固療法処方割合

QI項目の解説

脳梗塞急性期における抗血栓療法として、発症48時間以内のアスピリン投与が確立された治療法となっています。また、「急性期脳梗塞治療ガイドライン2013」では、脳梗塞急性期における抗血小板療法として、アスピリンを脳梗塞発症から24～48時間以内に投与することを推奨しています。したがって、適応のある患者には第2病日までに抗血栓薬の投与が開始されていることが望めます。

QI指標の定義・計測方法・グラフ

分子：入院2日目までに抗血小板療法もしくは一部の抗凝固療法（サグレルナトリウム）を受けた患者数

×100【%】

分母：18歳以上の脳梗塞かTIAと診断された入院患者数

